

市民の声を施策に反映

第4回まちづくりネットモニター を実施しました



令和3年10月11日

郡山市政策開発部

広聴広報課

担当：本田 弘一

ターゲット 16.6 TEL：924-2061

SDGs ターゲット 16.6 「有効で説明責任のある透明性の高い公共機関を発展させる」

2021年度まちづくりネットモニター（第4回調査）の調査結果をお知らせします。

○調査概要（詳細は別紙のとおりです。）

・第4回(7月1日(木)～10日(土))

テーマ	各種ハザードマップについて
目的	市民の皆さまの各種ハザードマップに対する認知度を把握し、今後の取り組みに向けて参考とさせていただくため。
考察	各種ハザードマップの今後の活用について、大多数の方が活用する考えでいる一方で、自宅の周りは安全などの理由から、活用を考えていないという意見もあった。必ずしも自宅で被災するとは限らないので、引き続きハザードマップの啓発を行っていく必要がある。
回答者数/率	336名(男性 156名 女性 180名) 93.3%
担当	建設交通部 河川課 池田 剛 TEL：924-2701



ウェブサイトに
アクセスできます。

https://www.city.koriyama.lg.jp/shiseijoho/koho_kocho/netmonitor/index.html

<まちづくりネットモニター>

郡山市では、市民の皆さまの意見等をお聞きする取り組みとして、様々な機会や方法等により実施しており、その一つとして、市民モニターの方々に御協力いただきインターネットを活用した市政アンケートを実施しています。

(モニター数：360名(男性 164名、女性 196名))

今回は、2021年度第4回目の調査となります。